

MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2010 Vol.10

TAKE FREE

発行元：株式会社 松永建設
 発行人：松永大祐
 〒339-0043
 埼玉県さいたま市
 岩槻区城南五丁目6番6号
 TEL：048-798-1751 (代)
 FAX：048-798-0075
 【HPアドレス】
<http://www.matsunaga.gr.jp>

松永建設の築堤工事が優良工事表彰を受賞!

1738分の1の栄誉

【受賞工事名】H20山王築堤工事



この秋、優良な土木工事に贈られる表彰が、松永建設の「H20山王築堤工事」に授与されました。国土交通省・関東地方整備局管内において、同工事が平成21年度の1738現場の中で工事評点第1位を獲得、大変誉れ高い受賞となりました。現場代理人である田中吉朗係長を始め、当社土木部の喜びの声をお聞きください。

代表取締役
松永大祐

土木部工事課
田中吉朗係長

松永建設は、優良な土木工事に贈られる表彰を国土交通省・関東地方整備局から授与されました。「顧客の皆様のために」を第一に考え、機敏な対応と細心のレスポンスを心がける当社にとって、それが評価されるということは何よりの栄誉です。

今回、表彰をいただいたのは「H20山王築堤工事」という現場です。江戸川の堤防土手を厚くし、河川災害に対する安全度を高めるための工事となります。土木部工事課・松浦正弘課長の管理の下、土木部工事課・田中吉朗係長が現場代理

人を務め工事は行われました。田中係長は、「迅速かつ緻密な段取りとレスポンス」が受賞のポイントになったと分析します。築堤工事は、文字通り堤防を築く工事のため、大量の土砂を必要とします。ゆえに、ダンプカーによる土砂のピストン輸送、それもスムーズな運搬が欠かせません。松永建設では今回、築堤工事そのもののほかに、堤防土手に設けられた工所用道路の管理を委託され、常に最良の状態でも道路を維持するために粉骨砕身して臨んだといえます。

「大型のダンプカーが一日延べ3000



▲写真左が完成直後の堤防。写真右のように、築堤の盛り土に必要な土取り場には、掘削と同時に自然に近い湿地環境を作り出す整備も行いました。中央から右に人口の水たまりが見えます

台も行き来する上に、工所用道路は舗装された道路ではありませんから、段差や陥没ができそうだと、という報告を受けては飛んでいき、メンテナンスには日々細心の注意を払いました。『やって当然のこと』を着実に実行し積み上げていく、その難しさを実感し、同時に計り知れない達成感を得ました」(田中係長)

また、表彰を受けたことで注目を集めているのが河岸掘削時の自然環境への配慮です。掘削前の江戸川は高木群落が密集し、植生の単一化が進んでいる状況でしたが、河岸掘削を行うことで人

工的な攪乱をも同時に図ろうと計画されました。河川敷にあえて「水たまり」を作り、猛禽類の代替えさ場も用意。また堤防には画一的にならないよう起伏を設けるなど、良好な湿地環境を創出する整備を全体に行ったといえます。

このような努力に加え、絶えず創意工夫を行う姿勢、顧客満足度アップを心がける姿勢が認められ、今回の表彰に結実したのでしょうか。

当社が旨とする以上の姿勢を、これを機に改めて全社員が心に刻み、これからもよりよい工事のために邁進します。



「松永建設として持っている基本的な工事のクオリティ、そして仕事に対する姿勢が評価された結果なのでは」と笑顔で語る土木部・松山敏彦部長



「工事前段の重要な段取りを担当した土木部工事課・松浦正弘課長。「協力会社とうまく連携しながらも、お互い切磋琢磨し合った成果だと考えています」

たてもの
最前線

介護付有料老人ホーム「ロイヤルレジデンス大宮」

楽しい歌声と笑顔溢れる、高齢者のための活気に満ちた施設を目指して――

心を込めた高齢者施設を。

本年12月1日にさいたま市見沼区にオープンする、介護付有料老人ホーム「ロイヤルレジデンス大宮」は、当社で企画と建築を受注させていただいた、最新の有料老人ホームです。そこでオーナーである篠葉茂男様に、当有料老人ホームのコンセプト、そしていま求められている高齢者施設についてお話を伺いました。



▲オーナーの篠葉茂男様



▼集会スペースには移動式ステージも用意。見通しのよい廊下がまっすぐ続き、居室などが配置されています

「ロイヤルレジデンス大宮」を訪れると、まず最初に、美しくホテルのような佇まいに驚かされます。エントランスと、そこから伸びる広々とした廊下、そして食堂&レクリエーション兼用となる集会スペースまで、木目調の壁と床が続く内装は、シックで落ち着いた雰囲気です。通常の施設よりも広めにとられた居室は約18㎡となっており、標準装備としてベッドや液晶テレビ、冷蔵庫といった家具が用意されています。また、各居室に設けられているトイレも立ち上がりの際に助けとなる手すりが、両脇と前の三方

に設けられているあたりには、要介護状態のお年寄りの方に対する万全の配慮が感じられました。そして、こちらも通常の施設よりゆったりとられた集会スペースには、ミニキッチンが用意されています。「厨房は別にあるのですが、こうしてミニキッチンが集会スペースに併設されていれば、お茶やコーヒーをいれたりできますから」と語る篠葉様。そのスペース前方には、ステージ用の台が配置され、ここでカラオケ大会や演芸会などの催しを行いたいとのこと。篠葉様はプロの演歌歌手(芸名:

喜川真気さん)として活躍しておられます。全国各地のさまざまなステージで、歌が大好きなお年寄りとお会いしたことから生まれたアイデアなのだそう。 「歌や落語、演芸といった催しが数多く開かれる、笑顔いっぱいの施設にしたいと思っています。楽しいイベントほどお年寄りの方を元気づけるものはありませんからね」 緑が多い落ち着いた環境。さりげない贅沢と細かな配慮の行き届いた施設。ここに暮らすお年寄りの皆様が、笑顔で過ごす様子が今から見えるようです。

▼明るく広々とした居室(右)や、坪庭を望み、ヒーター完備の大浴場(左)など、魅力ある設備です。自立の方から要介護5の方まで終身利用が可能以上に、介護付だから安心です



最新CD・テレビ番組情報

左の写真は、篠葉様が最近リリースしたシングルCD『佐渡の寒ぶり／古奈の人』(パインスター)。また、テレビ埼玉で第1・第3木曜日の午前7:30~7:50に放映されている『まさき&こずえの歌仲間』にも司会者として好評出演中!



ロイヤルレジデンス大宮へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-682-1000 まで 【住所】〒337-0015 埼玉県さいたま市見沼区連沼75-2

◎松永建設の医療・福祉関連施設

実際の介護現場で得たノウハウを、高齢者の方の施設づくりへと役立てています

2015年、日本では高齢者世帯が1700万世帯まで増加し、そのうちの3割強が独り暮らしになるという推計も出ています。その超高齢社会において、頼るべきはやはり行き届いた施設です。住まう方々が高齢者であるだけに、ニーズを的確に満たし、かつ住み良い建築物であることは欠かせません。

松永建設ではその点において、確かな自信を持っています。右でご紹介する「うらら岩槻」を実際に自社で企画・施工、そして運営することで経験を日々蓄積し、高齢者の方々に気持ちよく過ごしていただけるよう、役立てています。

たとえば、施設内で重要な手すり。手の麻痺が右と左のどちらにあるかによって、手すりがどこにあればよいのか



違ってきます。握力が弱いお年寄りには、一本棒のタイプよりも、腕をひっかけて利用できる屈曲型の手すりが必要となります。また、健常者が思う以上の広さがないと介護人が共に入れないトイレなど、経験則を活かした企画・施工は、松永建設でこそ可能になります。

安心リビング・センター うらら岩槻



松永建設グループの安心リビング・サポート(株)が運営する「うらら岩槻」は、デイサービスとショートステイを提供している介護福祉施設です。南欧風の明るいムードの建物と、スタッフの輝くような笑顔が目印です。「長年、医療・福祉分野を手がけてきたことで得た建築ノウハウを、地域社会のために役立てたい」という熱い想いのもとに6年前からスタートしました。準備段階から介護や

看護の実務経験者を招き、設計施工を行ったことにより、設備や動線、内装にいたるまで「使いやすさ」を徹底させることができました。本年6月からはケアマネジャーも常駐しておりますので、細かなことでもお気軽にご相談いただければと思います。地域の「憩いの場」として、ぜひご利用ください。

うらら岩槻への
お問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-798-8341 まで

デイサービス
無料体験実施中!

お客様の
ご紹介

素早いレスポンスで、感動が生まれる修繕工事を!

山形食品株式会社様



岩槻区加倉でコンビニエンスストアの経営とテナント業を営んでいらっしゃる、山形食品株式会社の山形照之様。今回はテナント物件の改修工事と、コンビニエンスストアの屋根の工事を請け負わせていただきました。

「修繕などの工事は、大きな会社で

すと小回りという部分で難しいのではないかと印象があったのです。ところが、いざお願いすると小回りが利くこと利くこと。たとえば屋根が雨漏りをしたから修理を……となると普通は晴れてからの修理になるのですが、松永建設さんは雨の降りしき中、すぐに飛ん



▲こちらがテナント2店舗の内観。営業時間が終わった夜間に集中して作業を行いました



山形食品様へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-756-3351 まで 【住所】〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉2丁目8番10



◀左の写真のお店と同じ敷地内で経営されているファミリーマート



◀山形食品株式会社 代表取締役 山形照之様



◀「お客様が喜ぶ顔を見るのが何より嬉しいです」と語る、サークル・エンジニアリング事業部 営繕グループ 大塚 誠係長

できてくれて直してくれたのです。これには驚きました」

そして始まったテナント物件の改修工事。こちらの物件には、ゲーム・CD・DVD・本の販売店と、リサイクルショップがテナントとして入っております。どちらのお店も営業時間が長く、店休日も少ないため、工事のための時間をどのように捻出するかがカギとなります。そこで、お店の営業にご迷惑をかけないように編み出した工事の形は、「内装に関わる全工程を夜間に集中的に行う」

というものでした。各種業者が交代で作業を行う間、担当の大塚係長は、現場に泊まり込みで監督業務を行いました。

「それも私に気を使わせまいと、極力目立たないように泊まり込んでいたのです。その心配りを始め、どんな作業でも安全確保のための努力が徹底している仕事ぶりは、実に感動しました」

多くのありがたいお言葉を頂戴し、これからもより一層、お客様第一をモットーに頑張っ参ります。

お客様の
ご紹介

「暮らしに合わせた家」を創り出す快適リフォーム

井口様邸 改修工事



▲漆喰の白さが冴え冴えと美しい純和風の別邸。お茶のお稽古はこちらで



▲ご自宅の玄関もシックな雰囲気に様変わり



◀「懸案だった、我が家の健康診断が叶いました」と井口孝義様



▶井口宏子様はキッチン脇に作った食料庫もお気に入りとのこと

▼別邸のお茶室にて。「どのようなお花を飾って、どのようなお菓子でおもてなしするかを考えるのは楽しいですね」



▲ピアノ上のアーチは、こだわりが感じられる丸みを帯びた美しいデザイン

建物のリフォーム、それもご自宅のリフォームとなると、その家に住みながら、できるだけ負担をかけずに行えるのが理想です。3年の計画でご自宅の必要な箇所を順番に改修された井口孝義様・宏子様ご夫妻が、当社に声をかけてくださった理由もそこにありました。

「リフォームの工程管理がしっかりしていて、工期が確実に守られる、そのありがたみを非常に実感しました」とご主人は熱を込めて語ります。お話によれば30年越しの念願のリフォームとのこと。実はご自宅を新築後、2階ベランダの継ぎ目周辺から水がしみ出るようになり、年月とともに広がっていく外壁のシミを目にするたびに、「直したい」と願っていたそうです。

その工期以上に気に入っていただけ

たのが、当社の「使えるものはきちんと残す」という発想だった、と教えてくださったのは奥様。「若い頃は、来ていただくお客様のことも考えながら家づくりをしますでしょうか? 年月を経っていくと、今度は自分たちが暮らしやすいかどうかも、大切になってきます。家の中にあるたくさんの思い出も残しつつ、これから安心して住める環境を、と尽力してくださった松永建設さんのお気持ちが嬉しかったですね」

その一例が、立派な水目桜の無垢材家具が並び居間のリフォーム。家具との調和を第一に考えた内装材やその配色も大変お気に召していただいた様子です。「孫が『お家が明るくなったね』と喜んでくれてましてね」とお二人も目を細めます。

ご自宅の改修はほぼ終了し、4年目に突入した今年、奥様が茶道教室を開かれている別邸の外壁漆喰を塗り直しました。築50年になるという純和風の別邸は、和らぎと凛とした清雅さがある素晴らしい空間です。表千家の師範である奥様が、茶道を「日本の細やかな季節感を、おもてなしの心に映し出す総合芸術」と語るとおり、茶の湯の道にふさわしい佇まいにすっかり感じ入りました。



◀「リフォームは、普段の生活スタイルや暮らしの質を変えることなく、スムーズに行われることが肝心です」と語る、ABホーム工事部 飯嶋利夫 業務推進役

初めての耐震改修モデル事業に認定!

国土交通省「住宅・建築物耐震改修モデル事業」

【医療法人 新井病院様】耐震改修工事の現場より



◀11月現在の新井病院様の工事現場。耐震補強工事は来年1月から始まる予定となっております

この度、初めて募集が行われた国土交通省の「住宅・建築物耐震改修モデル事業」に、当社が工事を行っている医療法人 新井病院様が選ばれました。耐震改修を推進するこのモデル事業に認定されたことにより、改修工事に要する費用に対して国土交通省から補助金が支給されます。

今回は、病院の安全性を総合的に向上させるために、「耐震補強+リニューアル」という性格の異なる二つの工事を並行的に行うことが評価され、認定に至りました。

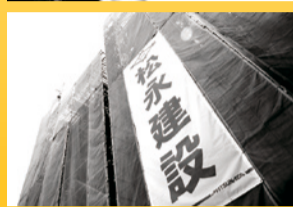
埼玉県久喜市にある新井病院様は、大正12年の開院。地域の頼れる総合病院としてその歴史を刻んできました。今回の耐震補強工事により、医療という人の命を預

かる施設において、建物のさらなる安全性確保を図ります。コンクリート壁増設補強／鉄骨ブレース補強／柱巻き補強が主な工法となります。

加えて、バリアフリー性を高める改修・リニューアル工事を同時に行うことで、より機能的に、かつ地域に貢献する施設として生まれ変わります。具体的には、リハビリ室や検診室などに可動間仕切りが設置され、工事後は一体的空間としての使用が可能になります。そのスペースは、災害時などに緊急医療活動を行う場として活用されることとなります。

さらに良い施設へ——。松永建設は常に新しい提案をさせていただいています。

お問い合わせは法人営業グループ TEL: 048-798-1767 まで



松永建設Webサイト リニューアル・オープン!

この秋、松永建設Webサイトがリニューアル・オープンいたしました。

内容としては、まず松永建設が展開しているさまざまな事業を、施工事例と合わせてわかりやすく解説。各グループリーダーによる事業紹介コメントも掲載しています。

また「実績紹介」では、公共施設・公共事業、学校・教育関連施設、民間企業、集合住宅などのカテゴリで分けられた当社の実績をご覧いただけます。

そのほか、企業情報はもちろんのこと、各種記録映像、環境への取組み、グループ会社の紹介など充実したコンテンツをご用意しておりますので、ぜひ下記までアクセスしてご覧ください。

松永建設

検索

検索サイトで、松永建設と入力してください

◎松永建設Webサイト
www.matsunaga.gr.jp

社長の男気コラム SPECIAL EDITION



音楽と人と祭り。私たちが繋ぐ、絆の音が聞こえた。



それは今年の暑い夏のこと。8月22日に「岩槻まつり」が開催されました。今回は岩槻駅そばにあるグループ会社、松永都市開発の駐車場に松永建設ブースを作り、お祭りに参加することに。使用できる面積も限られていたため、「何をやろう?」と社員と顔を寄せて考え出した案は……【マツナガピアガーデンフェスティバル2010】というタイト

ルのもと、音楽と、お酒を楽しむ空間を創り上げることでした。

バンド演奏ができるようにステージを作り、私はボーカル&ギター、ドラマーもバンド経験豊富な社員です。他のメンバーは互いの旧知の友人という急ごしらえとなりましたが、やはりそこは大人の音楽仲間。22日当日の午前中に初めていっしょに音を出すと、時間が進むにつれて、それぞれのアイデアが音になって現れ、確かなグループを生んでいきました。

そして迎えたお祭りの本番は、かつてない盛り上がりを見せました。と申しませんが、私たちのバンドだけではあり

社員同士で情熱あふれるギター演奏や心のこもったボーカルを聴かせ、いらしていただいたお客様も次々に歌ったり踊ったりと、夕闇があたりを包み始めるとともに大盛り上がり! さらには声を枯らして一生懸命司会を担当する社員がいるかと思えば、満面の笑みでいくつものテーブルにビールを運ぶ社員もいます。そして、普段はなかなか会うことがない社員の家族同士もあちこちで仲良く語り合い、本当に皆いっしょに和気あいあいと、賑やかなお祭りとなりました。

我々のこの試みはかかなり目立っていたようで、岩槻駅からお祭りのメインストリートへ向かう一般の方々が立ち止ま

り、鈴なりになって聴いてくださっていたのもステージから見え、印象に残っています。

そしてお祭りも終わった翌朝。嬉しい知らせがありました。当社の人間が会場となった駐車場の後片付けと清掃をしていると、近所の方が「いい音楽と活気をありがとう!」と声をかけてくださったというのです。

ここ最近、社内外を問わずイベントがあるたびに社員同士の絆が強まり、成長を重ねていっていると思うことが多くなりました。夏の岩槻まつりでやる気に満ちた社員が奏でていたのは、まさに深まっていく絆の音だったのだと、秋風が吹く今、私は実感しています。